

各位

関西岩場環境整備ネット
西村 良信

不動岩 MC フェース 整備報告書

謹啓 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

計画書にてお知らせした内容で終了点・中間支点の整備が終わりましたので報告致します。
尚、この整備により安全を保証するものではありません。ここを登られる方々の責任において十分なる安全確認を行い登っていただきますようお願いいたします。
また整備内容等に問題がありましたら下記連絡先にご連絡お願いいたします。

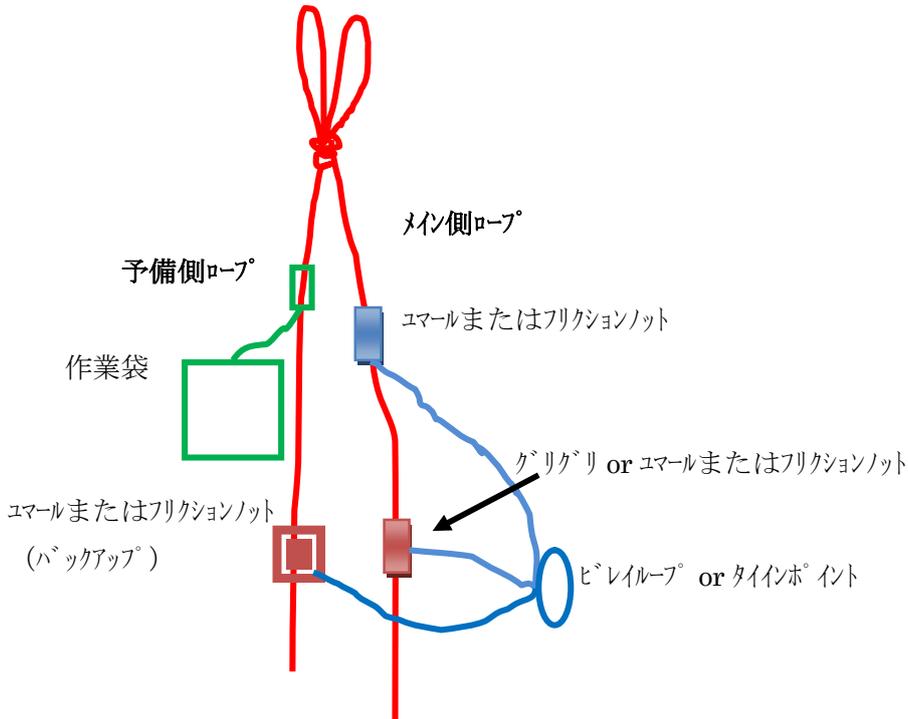
記

1. 作業日時（予定）：2013年11月9日（土）
2. 作業者：関西岩場環境整備ネットメンバー及びリボルト経験者（順不同・敬称略）
松本憲親・新田育夫・市原喜与治・黒田信男・中西利文・藤本孝文・
大野・渡辺・畑中・根津富太郎・岸本圭史・磯島修平・工藤達明・柳原・
壇上正巳・西村良信
3. 作業内容：不動岩MCフェースの終了点及び中間支点
4. 使用資材：Fixe #037 #014
ケミカルアンカー HILTI HIT-HY 150 MAX （終了点用）
ケミカルアンカー HILTI RE500 （中間支点用）
5. 作業基準：KINETのリボルト作業基準に準拠し行った。
6. 連絡先：kinet2008koho@yahoo.co.jp
7. 作業手順：MCフェース上部の木でフィックスを行い、終了点と中間支点の作業を分担して行う。別紙ビレー要領図に従い安全確保の上作業を行う事。
8. クレーム等：特にありませんでした。
9. 諸注意とお願い：整備された支点は、月曜日までは使わないでください。ケミカル接着剤が完全に固まるのに時間がかかります。ルート整備は、最新の技術と資材で行いますが、支点の安全性を100%保障するものではありません。
クライミングにおいては、あくまで、各自、自己責任で支点や終了点の信頼性の確認を含めて行ってください。
10. 初登関係者の承諾：2013年2月に承諾取得済み

以上

ビレー要領図

7ピットまたはエイトピットで終了点に固定 安付ピット複数使用



使用資材



Fixe #037



Fixe #014

作業手順

1. シアターに向かう途中の尾根状を登ればMCフェースの上部に出る。適当な木で支点構築して、ロープをフィックス。3~4本のフィックスを設置。各作業エリアは2人構成で作業を行う。
2. 中間支点整備班と終了点整備班に分かれて作業を行う。班割りは作業当日までに連絡します。
3. 今回、ケミカルアンカーは終了点 HIT-HY 150 MAX・中間支点は RE500 を使用する。
HIT-HY150MAX : 20℃でゲル状 5分 硬化時間約 1時間
RE500 : 10℃でゲル状 2時間 硬化時間 24時間
4. ラッペルステーションを設置し、設置後、既存の支点を撤去する。残置のカギナで使用可は新終了点に設置。
5. 安全確保は上記、ビレー要領図に従い行う事。
6. 中間支点でピットの残置カ所は関係者で相談の上打ち替え可否の検討を行い実行する。

不動岩MCフェース リポルト整備計画 作業班編成表

2013/11/7

作業エリア	作業者名	役割	作業内容
終了点整備	松本憲親	リーダー	終了点 6箇所程度の打ち替え。
	市原喜与治		各ポイントの人に打ち方の指導を行う。
	黒田信男		早く終われば中間支点の打ち替えを応援する。
	中西利文		
ルート整備	西村良信	リーダー	各ポイントの人に打ち方の指導を行う。
	新田育夫		56さよならサーティ6本 (5.11b 15m)
	藤本孝文		57スプリングサーティ3本? (5.10c 15m)
	市原喜与治		58スプリングサーティVer 3本? (5.11a限定15m)
	壇上正巳		59ルンルンサーティ5本 (5.10b)
			60ルンルンサーティVer 3本 (5.11a)
ポイント	黒田信男	リーダー	物資等の補給。
	中西利文		安全確認
	藤本孝文		
	大野		
	渡辺		
	畑中		
	根津富太郎		
	磯島修平		
	岸本圭史		
	工藤達明		
	柳原		
装備等			
個人用	通常の登攀用具以外に#17レフまたはスリッパ・マスク・ゴミ袋少々・マール・アグミ・ウズ少々		
ロープ	各班で固定用ロープ 10mm程度のシングルが2本必要です。		
ドリル・主要資材	西村が持参		
作業手順			
1.	シアターに向かう途中の尾根状を登ればMCフェースの上部に出る。適当な木で支点構築して、ロープをフィックス。3~4本のフィックスを設置。各作業エリアは2人構成で作業を行う。		
2.	中間支点整備班と終了点整備班に分かれて作業を行う。班割りには上記の作業班編成表の通り		
3.	今回、ケミカルアンカーは終了点HIT-HY 150 MAX・中間支点はRE500を使用する。 HIT-HY150MAX：20℃でゲル状5分 硬化時間約1時間 ノズル内固着に注意、ノズル交換 RE500：10℃でゲル状2時間 硬化時間24時間		
4.	ラッパルテーションを設置し、設置後、既存の支点を撤去する。残置のカギナで使用可は新終了点に設置。		
5.	安全確保は上記、ビレ要領図に従い行う事。		
6.	中間支点でピトンの残置力所は関係者で相談の上打ち替え可否の検討を行い実行する。 別紙、市原氏の現地調査内容書を熟読して下さい。本内容を現地で検討し実施する。		
7.	#014の設置方法（別紙参照） 旧支点を抜き取ったあと、水平より上部に約10°~15°傾けて設置する。		
8.	旧支点の撤去方法（別紙参照）		
9.	体より3本のセリバネを出す事 イトナト等で終了点に固定 安付バネ複数使用		

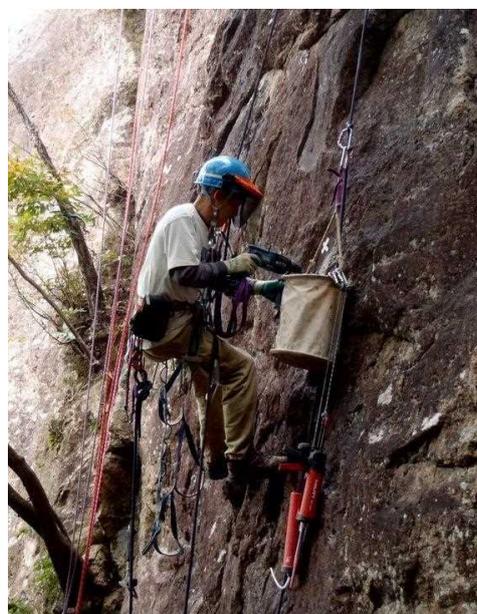
現場写真
作業説明



打ち替え作業中



打ち替え作業中



打ち替えしたボルト (さよならサーティ)



終了点 旧

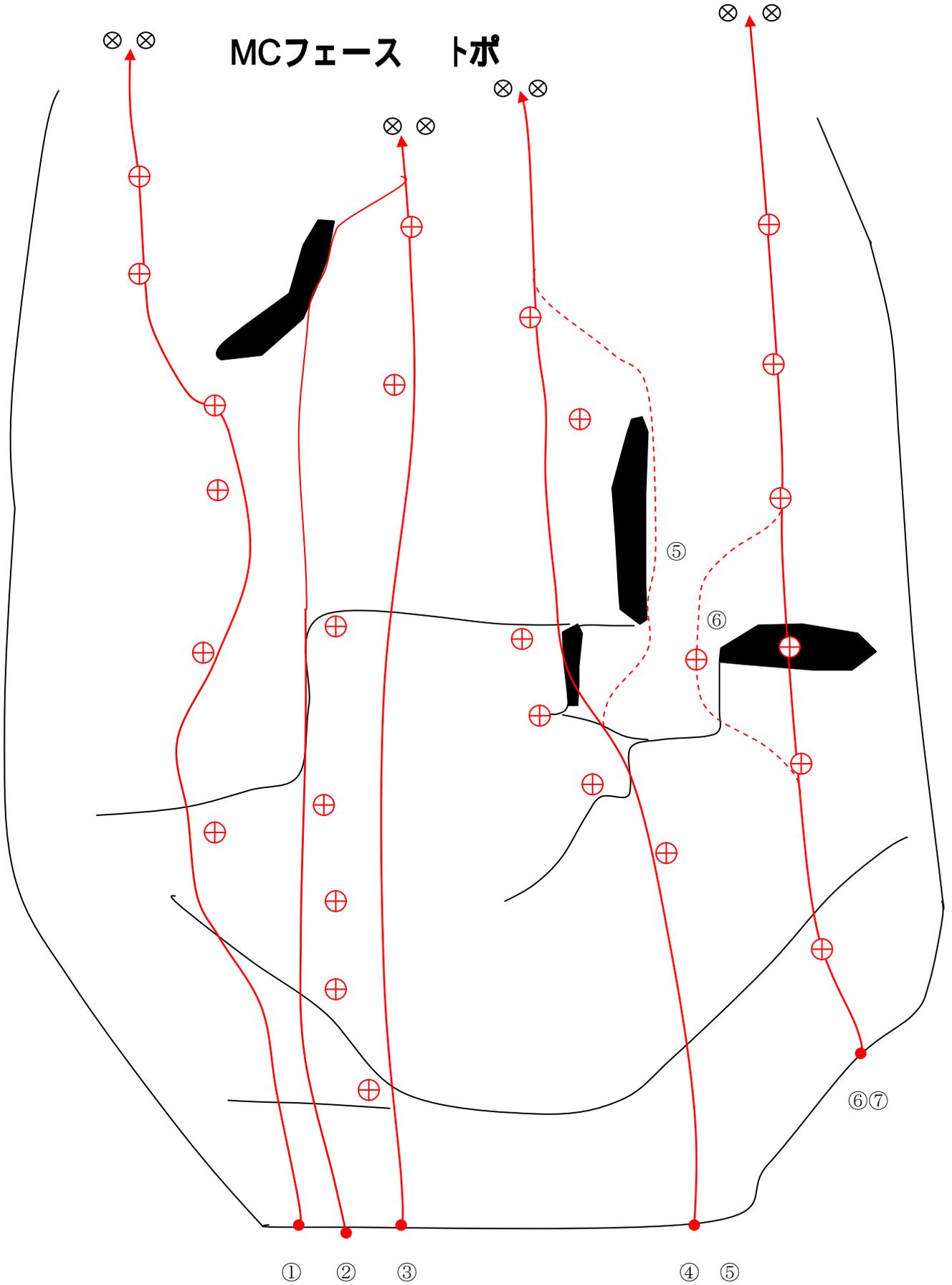


終了点 新



ラップルステーションを設置していますので、ローダウンには結び替えが必要です。

MCフェース トポ



- ① さよならサーティ 5.11 b 15m B6
- ② スプリングサーティ 5.10 c 15m B7 ★★
- ③ スプリングサーティVar. 5.11 a 限 15m B7
- ④ ルンルンサーティVar. 5.11 a 15m B6
- ⑤ ルンルンサーティ 5.10 b 15m B6
- ⑥ サーティストーリーVar. 5.10 b B6
- ⑦ サーティストーリー 5.9 15m B6